

2024年3月期 第2四半期 決算の概要

2023年11月16日

↓をクリックすると動画が視聴できます
[2023年11月16日 決算説明会](#)

株式会社今仙電機製作所

東証スタンダード・名証プレミア 証券コード：7266

(2023年10月20日より東証スタンダード市場へ移行いたしました)

I. 2024年3月期

第2四半期決算概要

取締役 執行役員 堀部 修一

II. 2024年3月期

連結業績見通し

取締役 執行役員 堀部 修一

III. 2024年3月期

第2四半期での取組

取締役 社長執行役員 櫻井 孝充

IV. 中長期経営計画 フェーズ2に向けて

取締役 社長執行役員 櫻井 孝充

V. 株主還元

取締役 社長執行役員 櫻井 孝充

I. 2024年3月期

第2四半期決算概要

取締役 執行役員 堀部 修一

II. 2024年3月期

連結業績見通し

取締役 執行役員 堀部 修一

III. 2024年3月期

第2四半期での取組

取締役 社長執行役員 櫻井 孝充

IV. 中長期経営計画 フェーズ2に向けて

取締役 社長執行役員 櫻井 孝充

V. 株主還元

取締役 社長執行役員 櫻井 孝充

| 単位：百万円 | 22/9期 | 23/9期 | 増減額 | 増減率 |
|--------|--------|---------|--------|---------|
| 売上高 | 45,859 | 47,332 | +1,472 | +3.2% |
| 営業利益 | ▲1,137 | ▲276 | +861 | — |
| 経常利益 | 73 | 208 | +135 | +183.0% |
| 当期純利益 | ▲562 | ※▲1,114 | ▲551 | — |

※日本、中国における希望退職による特別損失計上 約950百万円

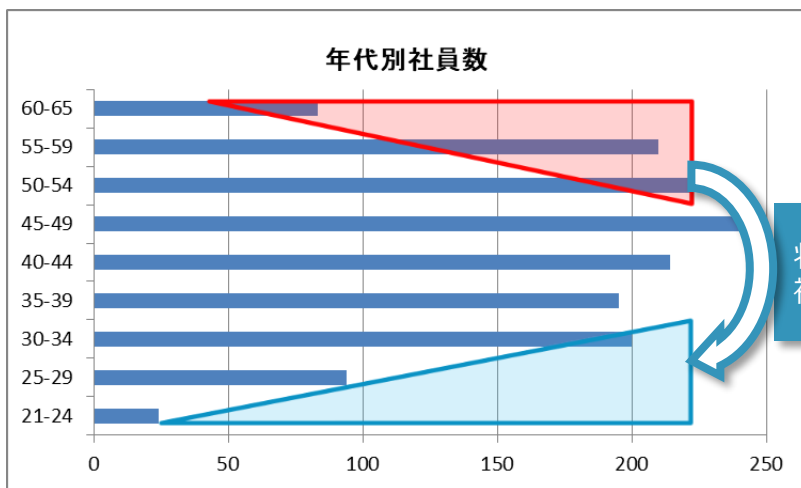
| | 22/9期 | 23/9期 | |
|----|-------|---------|---------|
| 為替 | USD | 123.14円 | 135.00円 |
| | CNY | 18.97円 | 19.46円 |
| | THB | 3.65円 | 3.95円 |

持続的な収益体質実現への取組

希望退職者募集

経営改革の一環として人員構成の適正化を図るため、日本では5月18日から5月31日の期間希望退職者を募集いたしました。
150名程度の募集に対し154名の応募がありました。

■ 実施前

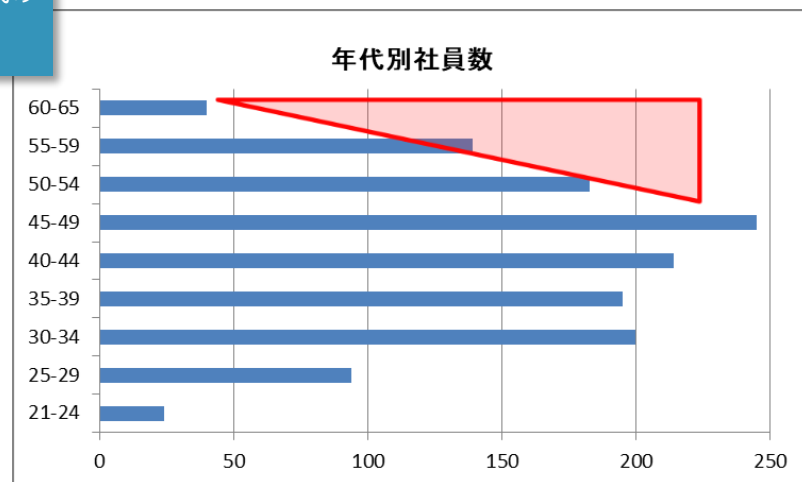


現在の年齢分布を見直し
新陳代謝促進を図る。

将来を担う年代の
補充が急務

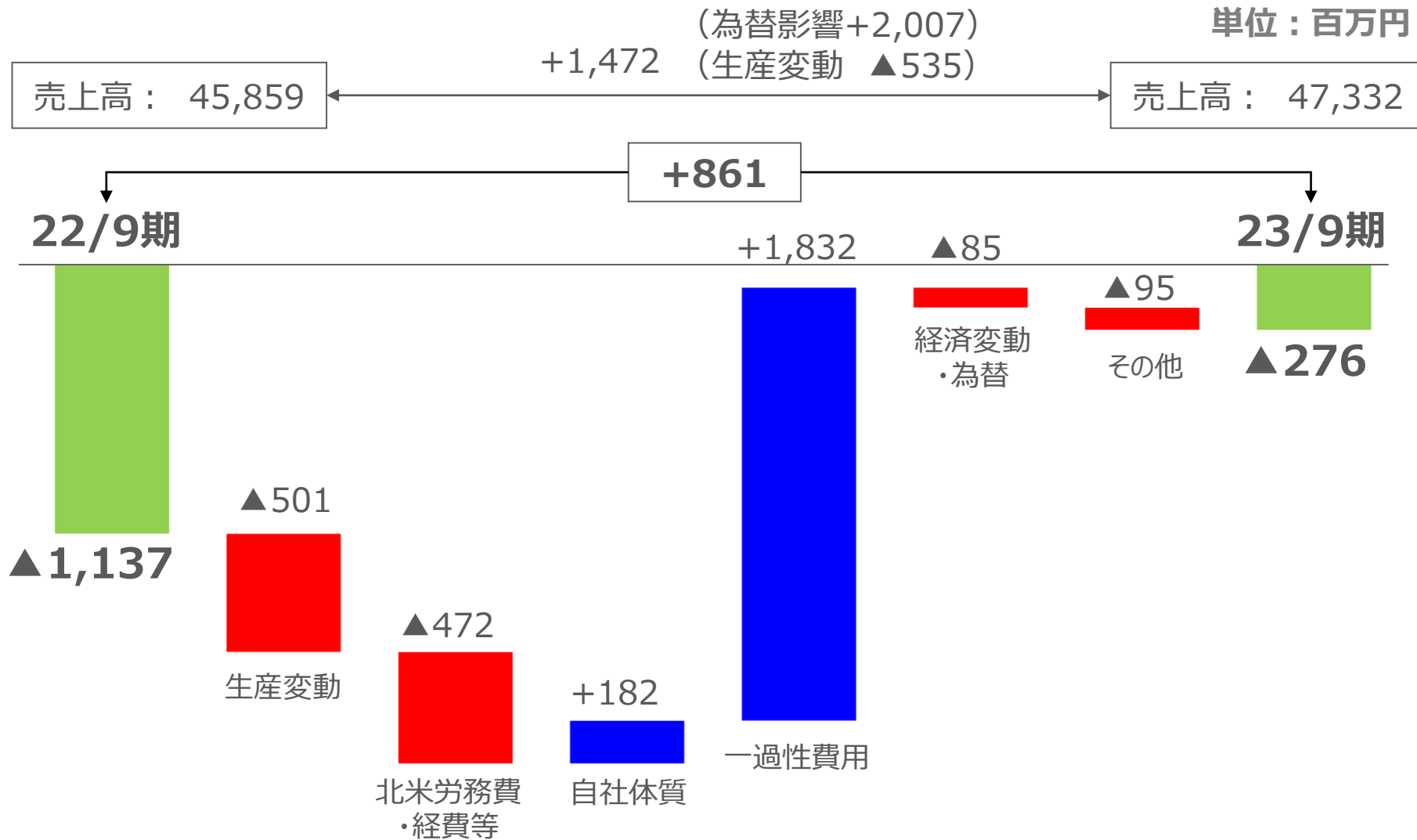
希望退職募集によりリーナ体制へ
今後は将来を担う年代の採用・育成が課題

■ 実施後



Challenge to New Imasen

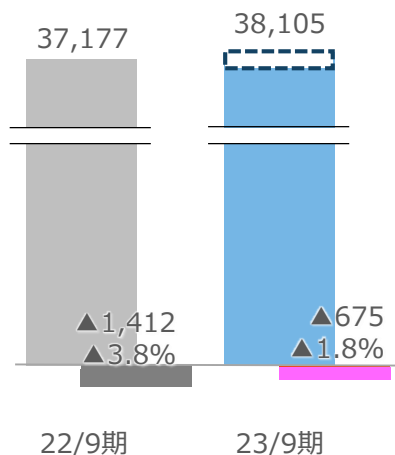
単位：百万円



中国での生産減少も、一過性費用の解消により上振れ

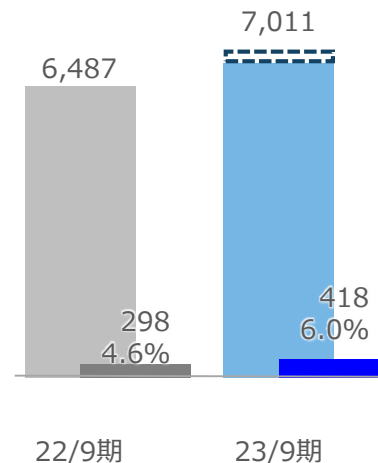
(単位：百万円)

シート・電装事業



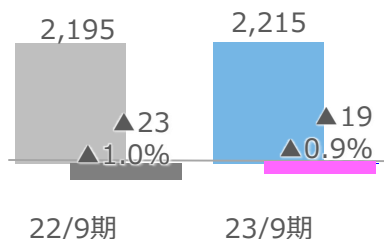
| | |
|---------------------------------|---------------------|
| 売上高 | +928 (+2.5%) |
| 前期とほぼ同等の生産水準であり、為替影響により増収となりました | |
| 営業利益 | +737 (損失縮小) |
| 一過性費用の解消により損失縮小となりました | |
| 為替換算効果額 | 売上収益 1,841 |
| | 営業利益 ▲94 |

電子事業



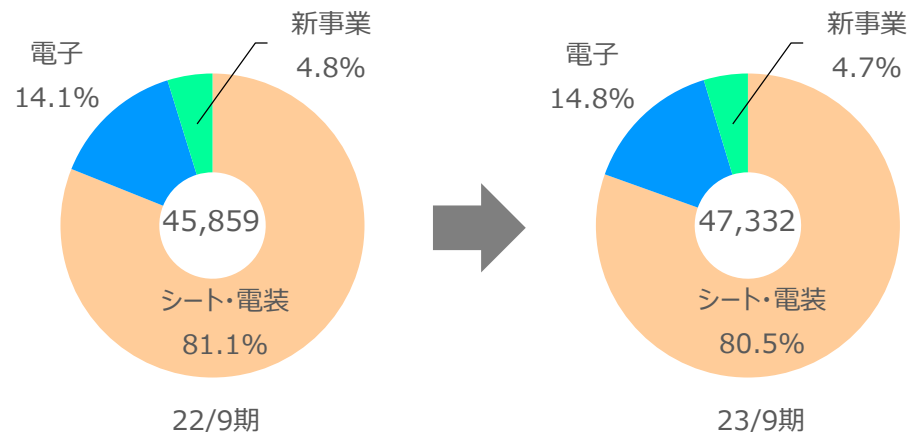
| | |
|---------------------------|----------------------|
| 売上高 | +524 (+8.1%) |
| 新モデルへの搭載等、生産増加により増収となりました | |
| 営業利益 | +120 (+40.3%) |
| 増収効果により増益となりました | |
| 為替換算効果額 | 売上収益 167 |
| | 営業利益 ▲3 |

新事業



| | |
|-------------|--------------------|
| 売上高 | +20 (+0.9%) |
| ほぼ横ばいとなりました | |
| 営業利益 | +4 (損失縮小) |
| ほぼ横ばいとなりました | |
| 為替換算効果額 | 売上収益 0 |
| | 営業利益 0 |

事業別 売上高構成



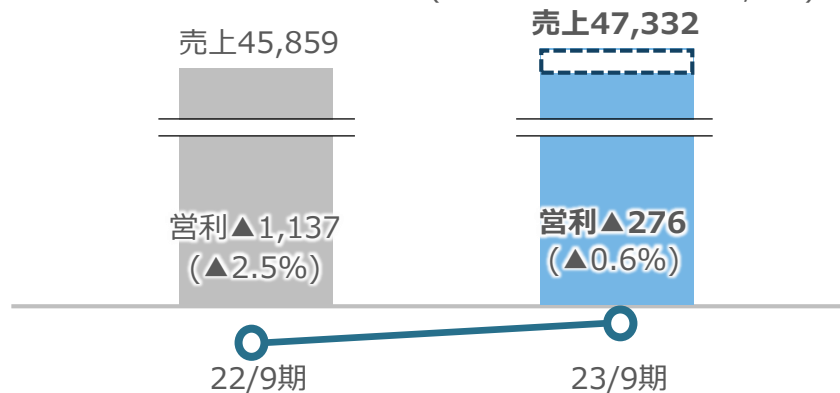
※新事業には、既存事業である非自動車関連事業を含みます。

(単位：百万円)

連結 (消去後)

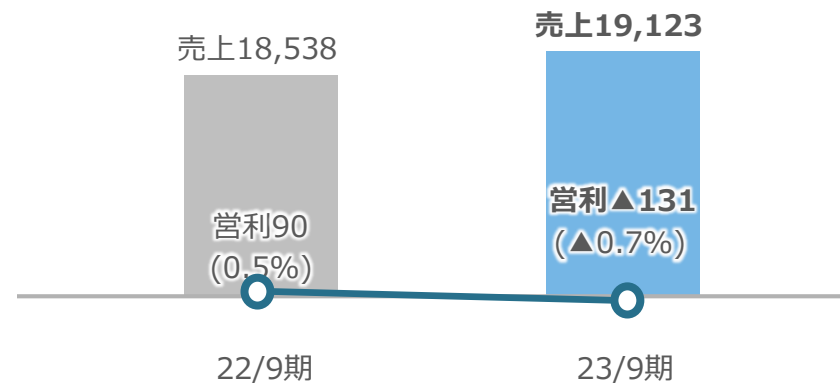
一過性費用の解消および体質改善により営業損失縮小

(為替等除く実質売上：45,325)



日本

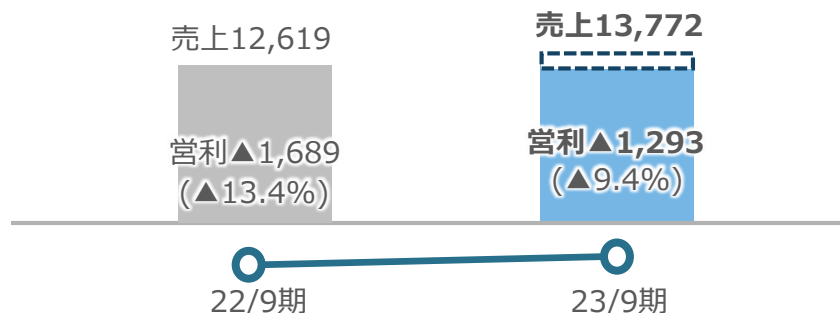
材料価格高騰の影響により減益



北米

一過性費用 (輸送コスト) の解消により営業損失縮小

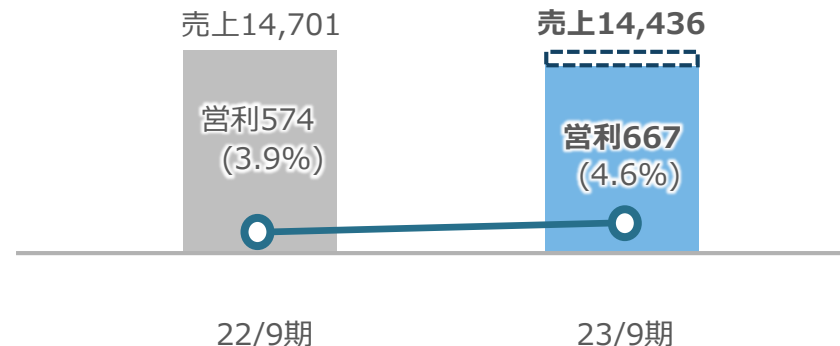
(為替等除く実質売上：12,542)



アジア

中国で減収も原価改善により増益

(為替等除く実質売上：13,660)



(単位：百万円)

設備投資

| | 22/9期 | 23/9期 | 増減額 |
|-----|-------|-------|------|
| 国内 | 545 | 868 | 323 |
| 北米 | 229 | 130 | ▲ 99 |
| アジア | 344 | 279 | ▲ 65 |
| 合計 | 1,117 | 1,277 | 160 |

＜当期の主な投資内容＞

- ・国内
新規車種立ち上げに伴う金型投資により増加
- ・北米、アジア
前期における新規車種立ち上げの投資に対し減少
自動化および内製化に向けた投資の実施

減価償却費

| | 22/9期 | 23/9期 | 増減額 |
|-----|-------|-------|------|
| 国内 | 647 | 627 | ▲ 20 |
| 北米 | 186 | 235 | 49 |
| アジア | 587 | 588 | 1 |
| 合計 | 1,419 | 1,450 | 31 |

- ・北米
前期における新規車種立ち上げの投資により増加

I. 2024年3月期

第2四半期決算概要

取締役 執行役員 堀部 修一

II. 2024年3月期

連結業績見通し

取締役 執行役員 堀部 修一

III. 2024年3月期

第2四半期での取組

取締役 社長執行役員 櫻井 孝充

IV. 中長期経営計画 フェーズ2に向けて

取締役 社長執行役員 櫻井 孝充

V. 株主還元

取締役 社長執行役員 櫻井 孝充

| 単位：百万円 | 前期実績 (23/3期) | 当期予想 (24/3期) | 増減額 | 増減率 |
|--------|-----------------|-----------------|--------|--------|
| 売上高 | 99,730 | 95,400 | ▲4,330 | ▲4.3% |
| 営業利益 | ▲770 | 70 | +840 | — |
| 経常利益 | 28 | 50 | +22 | +77.8% |
| 当期純利益 | ▲2,053 | ▲1,970 | +83 | — |

通期予想は5月12日発表予想を据え置いています。

I. 2024年3月期

第2四半期決算概要

取締役 執行役員 堀部 修一

II. 2024年3月期

連結業績見通し

取締役 執行役員 堀部 修一

III. 2024年3月期

第2四半期での取組

取締役 社長執行役員 櫻井 孝充

IV. 中長期経営計画 フェーズ2に向けて

取締役 社長執行役員 櫻井 孝充

V. 株主還元

取締役 社長執行役員 櫻井 孝充

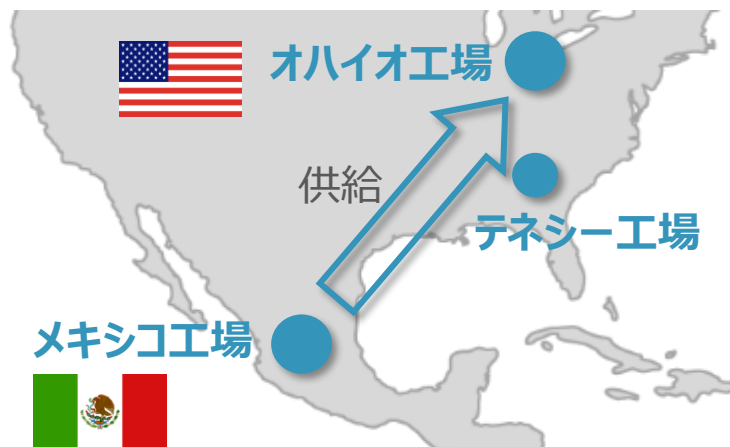
シート・電装事業の取組

北米地域事業集約

北米地域において、メキシコ工場シートアジャスタ生産業務の米国オハイオ工場への集約が完了いたしました。

この取組みにより、北米地区生産体制のスリム化を図るとともに、輸送費低減を実現いたしました。

■ 実施前



北米拠点の下組工場として、アメリカ拠点にコンポーネントパーツを供給

■ 実施後



メキシコ拠点は、販売会社として機能

シート・電装事業の取組

アジア地域の飛躍に向けた投資



**インド工場：新規受注製品に向けた能力増強
(プレスライン増設、建屋増築)**



プレスライン増設



建屋増築



シート・電装事業の取組

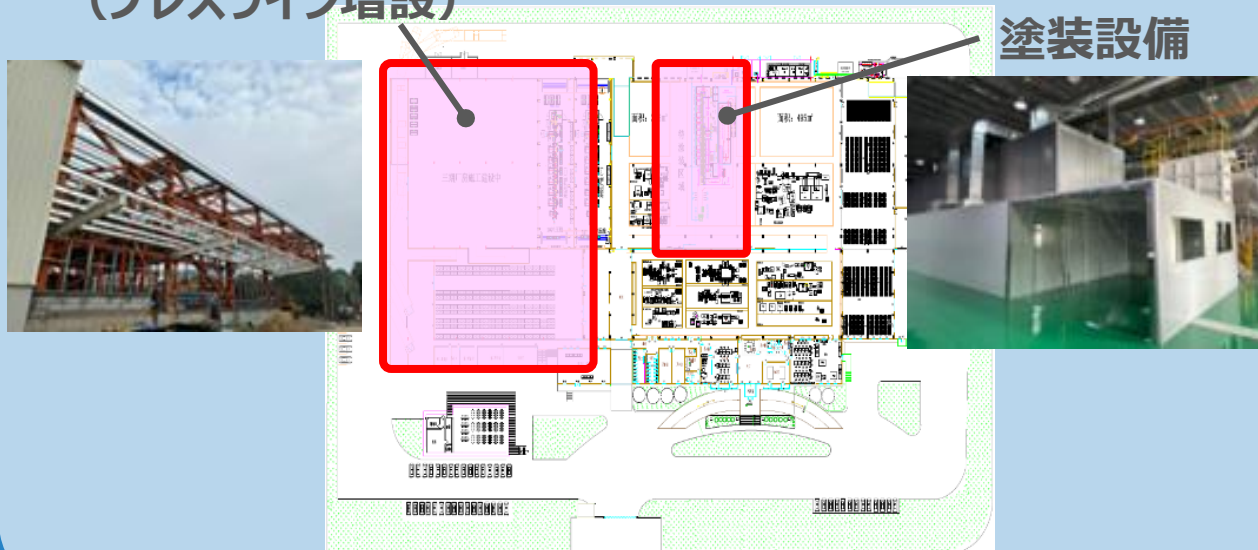
アジア地域の飛躍に向けた投資



中国 武漢工場：コスト競争力強化のため内製化を行い
一貫生産体制を構築
(第三期工場増設、塗装設備導入)



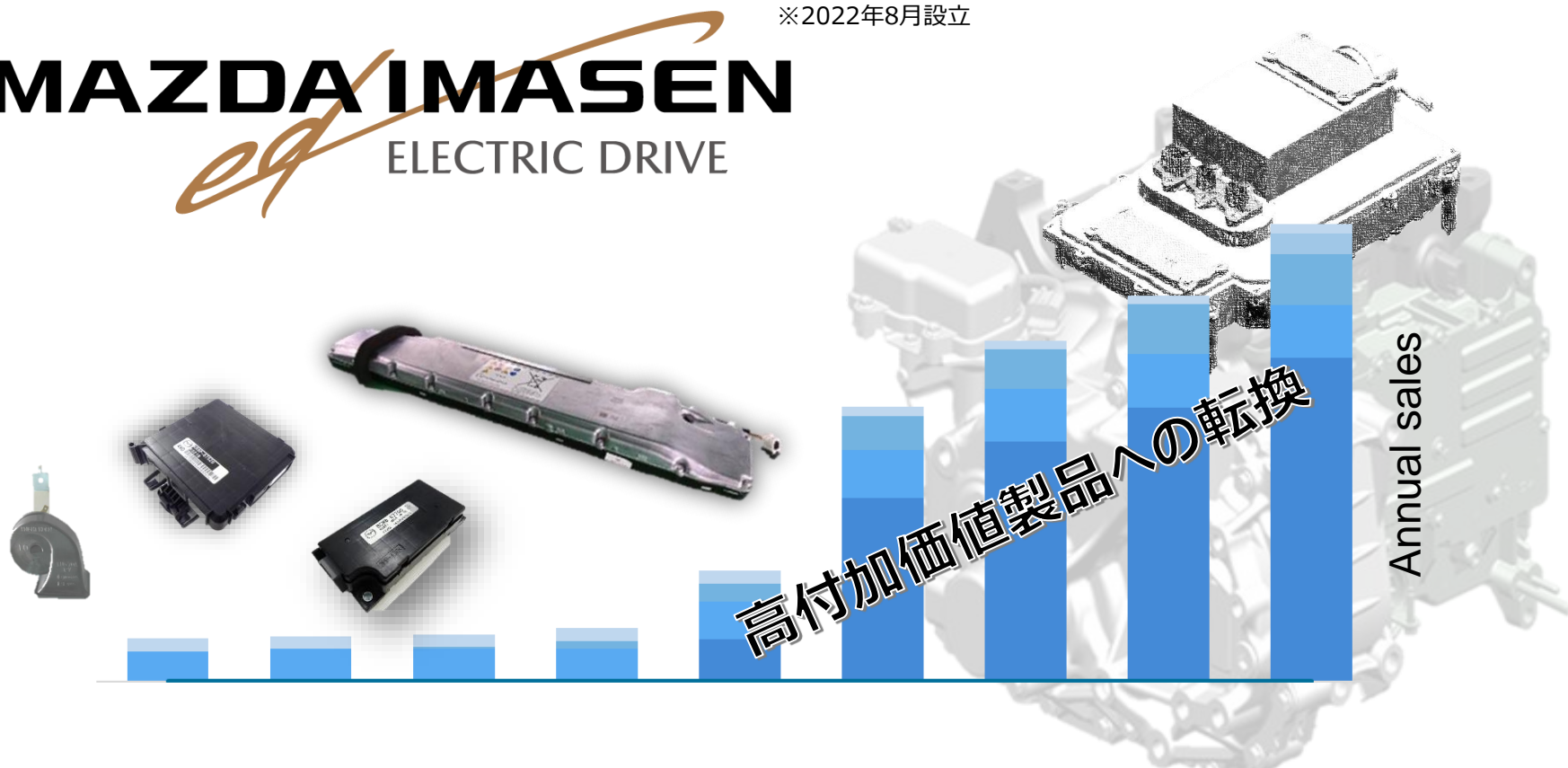
第三期工場増設
(プレスライン増設)



■ 電子事業：電気駆動システム開発

※2022年8月設立

MAZDA IMASEN
ELECTRIC DRIVE



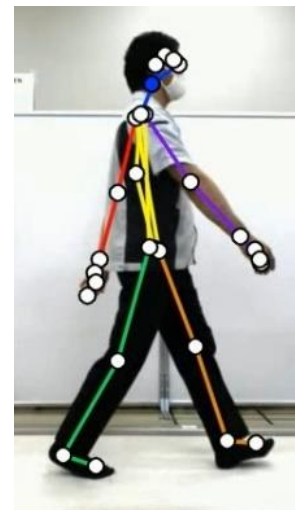
電気駆動製品開発・高効率生産技術開発
地域社会の産業基盤構築・カーボンニュートラル社会への貢献

人的資本を投入し量産準備中

新事業の取組

愛知県犬山市との「健康増進および介護予防に関する協定書」締結

当社は無動力歩行アシスト機「aLQ」や歩行測定システムとそのノウハウを活かし、『歩き方』の測定から診断、改善までの歩行事業の確立に取り組んでいます。



当社開発の歩行測定システムによる歩き方の見える化



右：原欣伸（はらよしのぶ）犬山市長

一層の市民の健康増進、介護予防の向上への貢献を図るとともに、歩行事業の確立に向け、さらなる取り組みを産官連携で推し進める一環で、犬山市との締結にいたしました。

※自治体との連携協定は22年愛知県岩倉市に続いて二例目です

新事業の取組

中期(2024年度~26年度)での取組

自治体

市民の介護予防

スポーツクラブ

会員の健康増進



健康保険組合

組合員への健康増進

病院・介護施設

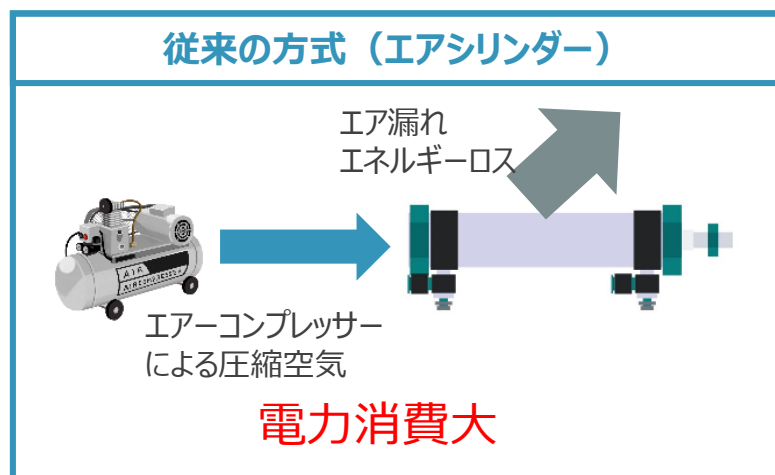
患者の健康管理

様々なパートナーと連携し、人々のQoL向上に貢献していく

ESG経営の取組

カーボンニュートラルに貢献する新製品の開発

当社の既存技術である機構技術と電子技術とのシナジーによる、省エネルギーで安価な設備駆動デバイスの開発を進めております。
今期中に試作品の実証を行い、社内設備に導入予定、将来的には製品としての販売を目指してまいります。



ESG経営の取組

国際福祉機器展（H.C.R.2023）出展

■ 今仙電機製作所ブース

当社開発の歩行測定システムを活用した、その場で結果が分かる診断サービス出展。
来場者の皆様に「歩き方の見える化」をご体験いただきました。



■ 今仙技術研究所ブース



IMASENグループの福祉事業を担う今仙技術研究所が開発、販売するバリエーション豊かな電動車いす、カートを展示いたしました。

コンセプトモデル

移乗介助ロボット STAR（Side Transfer Assist Robot）

狭い室内空間を全方位に移動し、移乗先であるベッドや便座等に座面の高さを合わせて密接することにより、安全な横移乗による移乗を実現し、介助者の負担を軽減します。



ESG経営の取組（日本今仙）

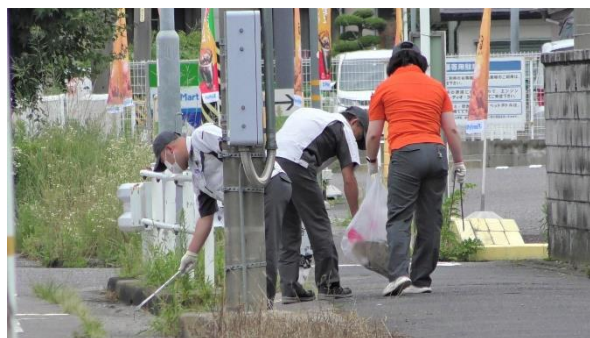
災害備蓄食料の寄付活動

入れ替え時期を迎えた災害備蓄品の食料を、近隣の福祉施設やフードバンクに寄付しております。今後もフードロスの低減と社会貢献に取り組んでまいります。



事業所周辺の清掃活動

地域社会の一員として事業所周辺の清掃活動に取り組んでおります。



ESG経営の取組（海外拠点）

グローバルでの社会貢献活動

海岸の清掃活動

[今仙電機股份有限公司(台湾)]



地域のハロウィーンイベント協賛

[イマセン ビュサイラステクノロジー インク
テネシー工場(アメリカテネシー州)]



地域児童への学用品支援

[イマセン フィリピン マニュファクチャリング
コーポレーション(フィリピン)]



学校への備品寄付活動

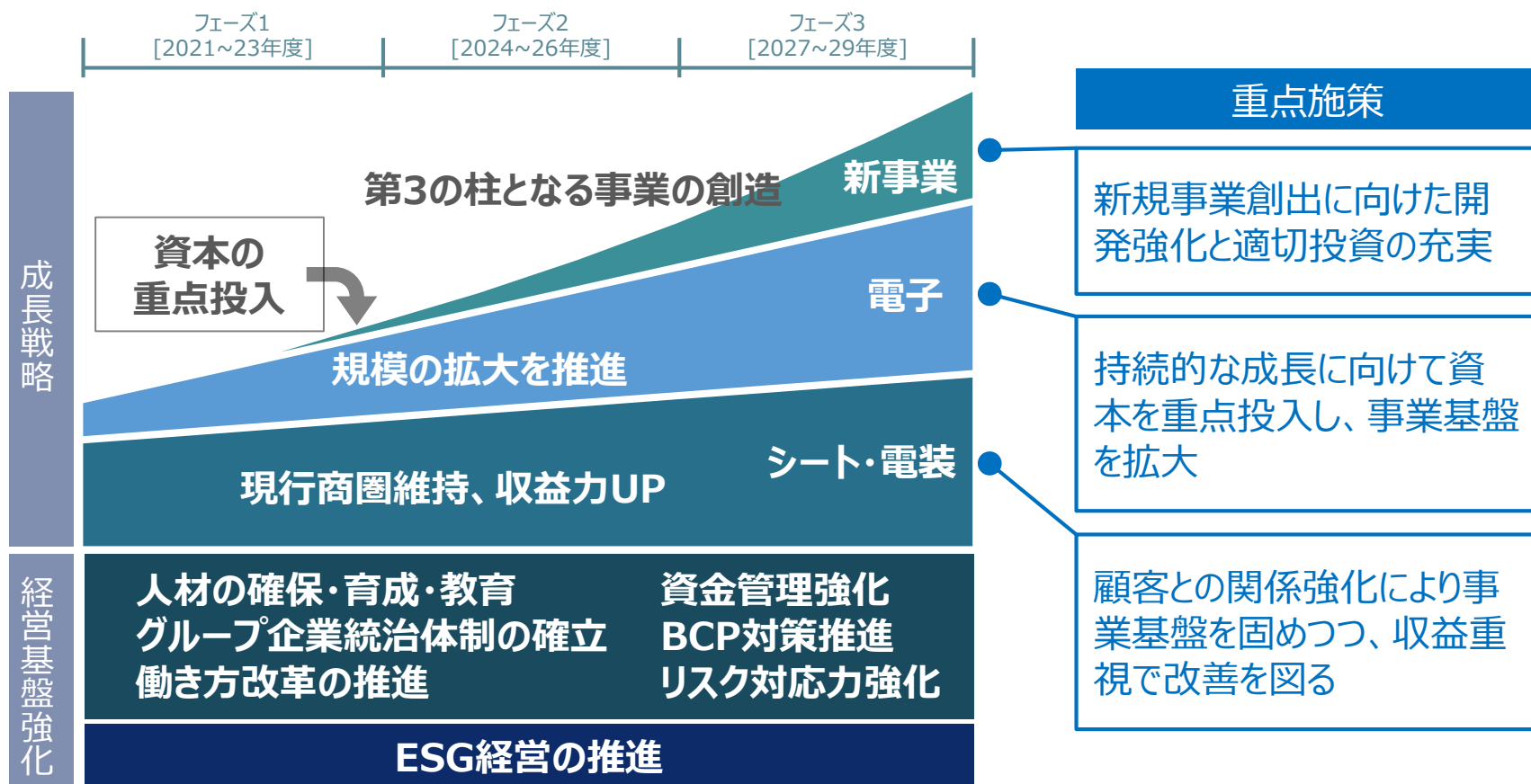
[イマセン マニュファクチャリング インディア
プライベート リミテッド(インド)]



- I. 2024年3月期 第2四半期決算概要
取締役 執行役員 堀部 修一
- II. 2024年3月期 連結業績見通し
取締役 執行役員 堀部 修一
- III. 2024年3月期 第2四半期での取組
取締役 社長執行役員 櫻井 孝充
- IV. 中長期経営計画 フェーズ2に向けて
取締役 社長執行役員 櫻井 孝充
- V. 株主還元
取締役 社長執行役員 櫻井 孝充

中長期経営計画2029

2021年4月に新たな「中長期経営計画2029」を策定し、活動をスタート。
経営理念も刷新し、「社会に選ばれる企業」になる事で、持続的かつ永続的に成長する企業を目指す。



▶中長期経営計画2029 フェーズ1 (21-23年) の振り返り

| 事業 | 成長戦略 | 振り返り |
|-------|---|---|
| シート電装 | <ul style="list-style-type: none"> 顧客との関係強化 コスト競争力強化 自動化投資 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 新型コロナ影響、半導体供給不足、一部車種の打ち切り等による売上減少 ▶ TSテックとの協業により海外において新たな受注を獲得(アジア地域) ▶ 国内工場再編等の生産体制の統廃合や内製化、ロボット活用による自動化投資を進め、以前より効率的生産が可能になった |
| 電子 | <ul style="list-style-type: none"> 新商品投入 生産・供給体制構築 開発体制強化 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 電子ユニット組立ラインに多品種混合生産ラインを導入 ▶ 広島第2テクニカルセンター開設 ▶ マツダ株式会社との合併会社「Mazda Imasen Electric Drive株式会社」を設立し、インバータを中心とした電動化の展開が進んだ ▶ フェーズ2(24-26年)における事業成長の目途付けができた |
| 新事業 | <ul style="list-style-type: none"> 開発・投資強化 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ aLQを起点に、歩行測定器を開発し、自治体などでの活用を通じた社会貢献を推進した ▶ 基礎づくりが完了し、フェーズ2(24-26年)での事業化に向けて推進する |

厳しい環境下において 事業成長に向けた「種まき」を進めた

- ▶ 2021年4月に新たな「中長期経営計画2029」を策定し、活動をスタート
- ▶ **2024年4月よりフェーズ2へと移行**します



- ▶ 2021年4月の中長期経営計画策定時点から変化があった

外部環境

- ▶ **半導体供給不足**
→ 足元徐々に落ち着いてきた
- ▶ **ウクライナ、中東問題**
- ▶ **物価上昇**
- ▶ **賃金上昇**
- ▶ **原材料、輸送費高騰**
→ 輸送費は徐々に落ち着いてきた
- ▶ **急激な為替変動**

内部環境

- ▶ **事業構成の変革** (3本足)
→ 電子の事業成長 (26年から本格化)
→ 新事業の確立
- ▶ **攻めと守りを同時に推進**
→ 筋肉質な経営体質
→ 先々に向けた人員構成

変化への順応 によりフェーズ2をアップデート

行動指針/合言葉

Trust & Challenge

フェーズ1
(21-23年)

Challenge to New Imasen
「新しい今仙への挑戦」

フェーズ2
(24-26年)

Challenge by New Imasen
「新しい今仙の挑戦」

フェーズ1における
体質強化をベースとし
事業構成の変化とともに
着実な事業成長を遂げる

フェーズ3
(27-29年)

Challenge for New Imasen
「新しい今仙の更なる挑戦」

I. 2024年3月期

第2四半期決算概要

取締役 執行役員 堀部 修一

II. 2024年3月期

連結業績見通し

取締役 執行役員 堀部 修一

III. 2024年3月期

第2四半期での取組

取締役 社長執行役員 櫻井 孝充

IV. 中長期経営計画 フェーズ2に向けて

取締役 社長執行役員 櫻井 孝充

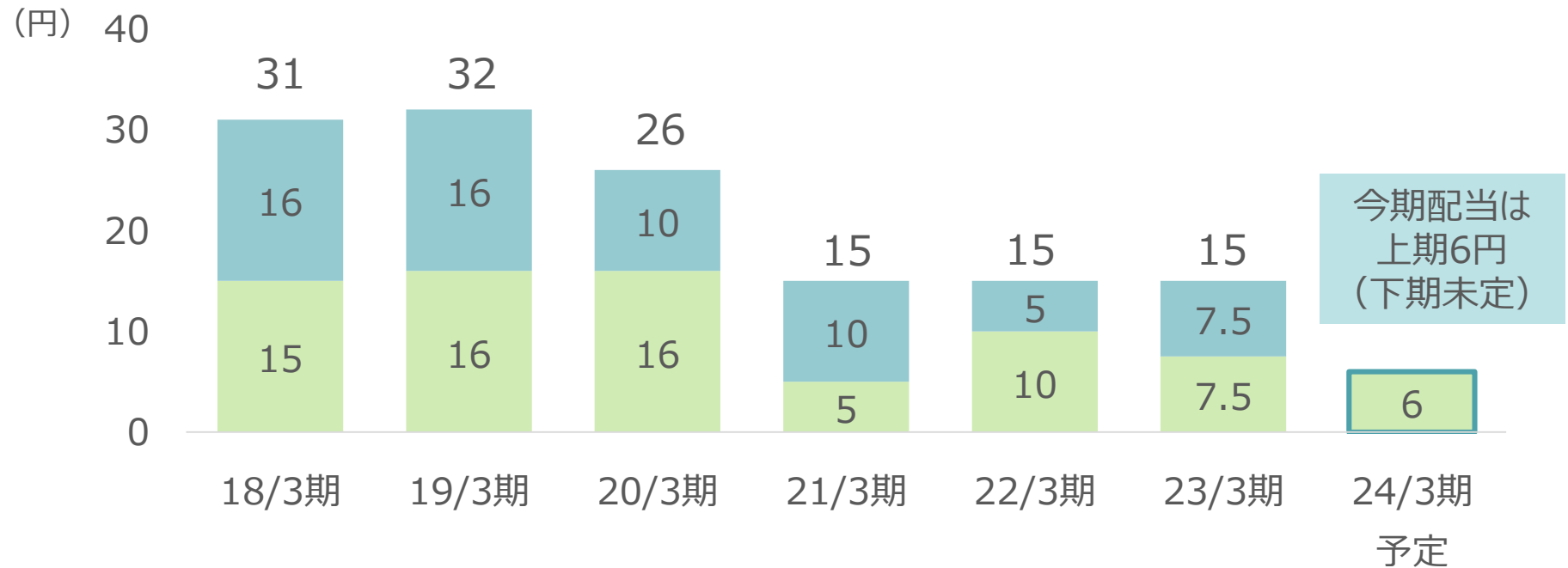
V. 株主還元

取締役 社長執行役員 櫻井 孝充

■ 配当予測

【配当方針】

持続的な成長を維持していく中で、財務体質と経営基盤の強化を図りながら株主の皆様への安定的・継続的な利益還元を行う



下期は業績に応じて配当予定

■ 自己株式の取得

2022年11月24日開催の取締役会において決議しました、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の取得について、下記のとおり終了いたしました。

自己株式取得の概要

| | |
|------------|---------------------------|
| 取得した株式の種類 | : 当社普通株式 |
| 取得期間 | : 2022年11月25日～2023年10月10日 |
| 取得方法 | : 東京証券取引所における市場買付け |
| 取得した株式の総数 | : 1,150,000 株 |
| 株式の取得価額の総額 | : 784,470,100 円 |

Trust & Challenge

Challenge to New Imasen

- 本資料の内容に関する一切の権利は株式会社今仙電機製作所に帰属しています。複製及び無断転載はご遠慮下さい。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。
- 実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

○IRに関するお問い合わせ先

株式会社今仙電機製作所

グローバル経営事業部 経営企画課 IR担当

TEL 0568-67-1517

URL : <https://www.imasen.co.jp/contact/>